

全国産業資源循環連合会 青年部協議会

第24回通常総会

日 時：令和5年6月15日（木）午後3時30分

場 所：AP新橋

（東京都港区新橋 1-12-9 新橋プレイス）

出席者：47社（会場 42社、委任状出席 5社）

／ 各県部会長総数 47社

他、全国幹事18社出席

全国産業資源循環連合会青年部協議会（海野泰兵会長）は「第24回通常総会」を開催しました。

愛知県青年部からは、金田琳氏（全国副会長：サンコーリサイクル（株））、永井弘児氏（全国事務局：永一産商（株））、天野晃明氏（愛知県会長：岡崎技研（株））、渥美和男氏（（有）渥美商会）の4名が参加されました。

開会の挨拶で海野会長は「令和5年度事業計画として、令和4年度全国産業資源循環連合会青年部協議会は「行動」をスローガンに掲げ、「情報共有」「会員拡大」「変化を恐れることなく行動しよう」の3つをテーマに掲げて活動を行って参りました。昨年度のカンファレンスでは情報共有を行い、会員拡大をテーマに議論を行い、これからの青年部としての業界の未来の為に何を行動すべきかを議論しています。このカンファレンスをきっかけとし、本年度は次世代を担う青年部会員の拡大・人材育成を行います。情報共有サイトの活用・れん楽網の使用を積極的に働きかけ、多くの情報・知恵を共有し全国会員が同じ方向を向いて、行動できるように取り組みます。全国青年部会員が集まる「全国大会」を通して、青年部の一致団結した姿を対外・対内へ発信していきます。各都道府県部会長が参加する「カンファレンス」では、自己の成長を促し、若手人材の育成へ繋げていきます。業界の振興・地位向上を叶えるためには私たちは行動しなければなりません。10年後20年後の業界の未来の為に、私たちは青年部活動を通じて自らが先頭に立って小さな行動を重ねて行っていきます。以上のような行動方針の基、活動を行ってまいりますのでよろしくお願い致します。」と述べられました。

次に、（公社）全国産業資源循環連合会会長の永井良一氏から挨拶があり、永井会長自身が愛知県青

年部のチャーターメンバーであり、青年部に期待することとして、青年部は我々の業界を担う次の世代の方々ばかりなので、日々そのことを念頭に置いて活動をして欲しいとのことです。また、社会全体で目指している「カーボンニュートラル」について、当業界に深く関わる「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の今後の方向性について、話がありました。

議案審議は、下記議案について審議され承認されました。

■第一号議案 令和4年度事業報告承認

■第二号議案 令和4年度収支決算報告承認
令和4年度監査報告

■第三号議案 財産管理規程承認

■第四号議案 令和5年度事業計画承認

■第五号議案 令和5年度収支予算承認

令和5年度事業計画

令和4年度全国産業資源循環連合会青年部協議会は『行動』をスローガンに掲げ『情報共有』、『会員拡大』、『変化を恐れることなく行動しよう』の3つのテーマを掲げて活動を行って参りました。昨年度カンファレンスでは情報共有を行い、会員拡大をテーマに議論を行いこれからの青年部としての業界の未来の為に何を行動すべきかを議論をしています。

このカンファレンスをきっかけとし、本年度は次世代を担う青年部会員の会員拡大・人材育成を行います。

情報共有サイトの活用・れん楽網の使用を積極的に働きかけ、多くの情報・知恵を共有し、全国会員が同じ方向を向いて行動できるように取り組みます。

全国青年部会員が集まる全国大会を通して、青年部の一致団結した姿を、対外・対内へ発信していきます。

各都道府県部会長が参加するカンファレンスでは、自己の成長を促し、若手人材の育成へ繋げていきます。

業界の振興・地位向上を叶えるためには、私達は行動しなければなりません。10年後、20年後の業界の未来の為に、私達は青年部活動を通じて自らが先頭に立ち小さな行動を重ねていきます。